国営総合農地防災事業 手賀沼地区

安全で安心な暮らしと、手賀沼周辺に広がる豊かな農村景観を次世代に



農林水産省

事業の目的



地域内の農地等を水害や干ばつから守る排水機場、揚水機場などは、昭和2| 年度から42年度にかけて国営手賀沼干拓事業等で造られました。

施設の完成から50年以上が経過した今、流域内における開発や周辺の地盤沈 下によって、十分な機能が発揮できない状況にあります。

また、施設は耐震性を有していないため、大規模地震が発生した場合、地域に 甚大な被害を及ぼすおそれがあり、早急に対策が必要です。

本事業では、手賀沼地域の安心・安全を確保するため、これら排水機場、揚水 機場などを改修します。

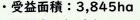






事業の概要





関係市:船橋市、松戸市、柏市、流山市、 八千代市、我孫子市、鎌ケ谷市、 印西市、白井市

・事業の期間:令和3年度~令和14年度 (予定)

総事業費:400億円(予定) ·関連事業費:241億円(予定)



お問い合わせ先 農林水産省関東農政局 手賀沼農地防災事業所 〒270-1323 千葉県印西市木下東2-4-1 五 0476-37-7140 FAX 0476-37-6772

施設名称	工事の概要
①手賀排水機場	機場の改修、排水ポンプの増強 (40.0m3/s→62.0m3/s)
②手賀第二揚排水 機場(排水機)	機場の改修、排水能力の強化 (10.0m3/s)
③泉揚水機場	機場の改修、吐水槽の新設 (2. Im3/s→2.5m3/s)
④都部新田揚水機場	機場の改修(位置を変更) 吐水槽の新設 (0.9m3/s→1.1m3/s)
⑤小森揚水機場	機場の改修(位置を変更) 吐水槽の新設 (I.Im3/s→I.3m3/s)
⑥金山落水路	排水路の拡幅、堤防の嵩上げ (16.3m3/s→31.2m3/s)
⑦手賀沼調節水門	撤去

施設の整備内容

① 手賀排水機場

昭和31年に「東洋一」の排水能力を持つポンプ場として完成し、手賀沼流域の排水を休むことなく行っている重要な施設です。



現在の機場を使用しながら工事を 行い、流域開発に対応した1.5倍の ポンプ能力に造り直します。

新機場完成後は、現在の機場は撤 去します。

手賀排水機場とともに洪水調節を 行っていた手賀沼調節水門も撤去し ます。 干拓事業で整備された揚水機場は、完成以降、地域内の水田に用水を供給し続けています。

③ 泉揚水機場



手賀沼、手賀川、金山落水路周辺の農 地に水を送っています。

現在の機場を使用しながら東側に造り 直し、新たに現在の円筒分水工付近に吐 水槽を設置し、現在の機場は撤去します。



② 手賀第二揚排水機場(排水機)

干拓事業で生まれた農地と湖北台や新木の住宅地からの排水を 手賀川に排水しています。



約1mの地盤沈下と流域開発により排水能力が低下しており、現在の機場を使用しながら東側に沈下に対応した機場を造り直し、現在の機場は撤去します。



手賀沼周辺と利根川沿いの農地に水 を送っています。

現在の機場は土砂がたまりやすく、市街 化も進んでいることから、都部新田に機場 を造り直し、名称を「都部新田揚水機場」 に改め、新たに五本松に吐水槽を設置し、 現在の機場は撤去します。



昭和38年にコンクリート張りの水路 として完成し、周辺の農地等からの 排水を下手賀沼に排水しています。

地盤沈下と流域開発により、毎年湛水被害が発生しているため、倍の断面に水路を拡幅します。



下手賀沼周辺と神崎川沿いの農地に水を送っています。

現在の機場は金山落水路からの土 砂がたまる位置にあることから現在の 機場を使用しながら下流側に造り直し、 新たに平塚に吐水槽を設置し、現在の 機場は撤去します。